

製品名: HRAS ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21292**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:21kD;Observed MW:21kD

抗原情報

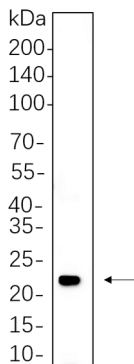
遺伝子名	HRAS
別名	HRAS,HRAS1,GTPase,H-Ras-1,Ha-Ras,Transforming protein p21, c-H-ras, p21ras, Cleaved into: GTPase HRas N-terminally processed,Cleaved into: GTPase Hras,GTPase Hras,HRAS 1,
遺伝子 ID	3265.0
SwissProt ID	P01112
免疫原	ヒト GTPase HRAS の合成ペプチド

背景

細胞局在：細胞質、膜。この遺伝子は Ras がん遺伝子ファミリーに属し、そのメンバーは哺乳類肉腫レトロウイルスの形質転換遺伝子と関連しています。これらの遺伝子によってコードされる産物は、シグナル伝達経路で機能します。これらのタンパク質は GTP および GDP と結合することができ、固有の GTPase 活性を有しています。このタンパク質は、脱パルミトイル化と再パルミトイル化を継続的に繰り返し、細胞膜とゴルジ体間の迅速な交換を制御しています。この遺伝子の変異は、出生前期の成長亢進、出生後期の成長不全、腫瘍形成の素因、認知障害、皮膚および筋骨格の異常、特徴的な顔貌、心血管系の異常を特徴とするコストロ症候群を引き起こします。この遺伝子の欠陥は、膀胱がん、濾胞性甲状腺がん、口腔扁平上皮がんなど、様々ながんに関与しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写変異体が同定されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

画像データ



PC-12 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを HRAS ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。